

令和7年2月4日
政 策 経 営 部
政策研究・調査課

日本大学商学部との連携・協力に関する包括協定締結について

1 主旨

区は、区内（隣接を含む）に17にも上る大学（学部）がある恵まれた環境であり、各大学の持つ専門性や地域資源を活かしながら、地域社会の持続的な発展に向けた大学と区との連携・協働を推進するものとしている。

区と日本大学商学部は、これまでも各々がもつ資源や特色を活かしながら様々な事業を実施しており、今後も一層連携・協力した取組みを進めるため包括連携協定を締結する。

2 経過

日本大学商学部とは、地域イベントへの参画や公開講座実施に関する連携、災害時における避難所としての施設利用など様々な分野において連携事業を実施している。こうした中で、日本大学商学部が社会連携センターが設立されたことも契機となり、より強固な関係づくりとさらなる地域協働事業等の充実・発展を目指すため、区に対して協定締結の要請があったことから、相互で内容を協議のうえ、協定を締結する。

3 協定の主な内容、期待される効果及び取組み

（1）主な内容

- ① 人的交流の促進
- ② 知的・物的資源の相互活用
- ③ 調査研究及び事業の共同実施

（2）期待される取組み

- ① 区立小中学校への教員、学生派遣をはじめとした教育機関との連携事業
- ② 区内企業への経営、会計等に関する支援
- ③ 公開講座の発展、拡充 など

4 協定締結等

（1）相手方

日本大学商学部（世田谷区砧5-2-1）

代表者 日本大学商学部 学部長 長谷川 勉

（2）協定名

「日本大学商学部と世田谷区との連携・協力に関する包括協定書」

（3）有効期間

締結の日から5年間とする。

ただし、有効期間が満了する日の1箇月前までに異議の申し出がないときは更に5年間延長とする。

(4) 締結日

令和7年2月25日

5 日本大学商学部との連携・協力実績

別紙1のとおり

【参考】

○日本大学商学部の概要

学生数：5,421人（令和6年5月現在）

特 色：1904年に創設し、現在3学科7コースを採用。商学・経営学・会計学・経済学といった専門領域の知識習得をベースに、教養科目、多様な言語の学びを合わせることで、知識の総合化を図り、「あらゆるビジネス実践に適応できる知恵（総合知）」を養う。

○これまでの包括協定締結大学 13大学（学部）

	締結日	大学名
1	平成26年5月28日	昭和女子大学
2	平成26年6月20日	日本体育大学
3	平成26年7月25日	日本女子体育大学
4	平成27年3月30日	東京都市大学
5	平成27年7月7日	成城大学
6	平成28年3月29日	明治大学
7	平成28年5月19日	産業能率大学
8	平成29年5月19日	日本大学スポーツ科学部
9	平成30年7月2日	日本大学文理学部
10	令和2年3月16日	駒澤大学
11	令和4年3月14日	東京農業大学
12	令和4年12月6日	テンプル大学ジャパンキャンパス
13	令和6年2月9日	国士舘大学

日本大学商学部と世田谷区との連携協力に関する実績（令和５年度）

【別紙１】

No	類型						事業名	事業概要
	①地域資源の活用	②学生の参画	③大学研究・教育活動	④各種計画策定にかかる調査研究・アドバイス	⑤小・中学生等の学習支援、生涯学習	⑥施設の相互利用		
	地理的条件や特産品といった地域資源の活用や社会的課題解決を図る事例など	イベント参加、ボランティア活動、インターンシップなど	防災、福祉、教育分野等、研究・教育活動を活かした取組み	計画策定にかかる委員、各取組みに対するアドバイスなど	通常授業への支援、授業では体験しがたいテーマの学習支援、公開講座など	図書館の相互利用、事業における施設使用協力など		
1	○					○	災害時における協力体制に関する協定書	災害が発生した場合に、避難所として大学施設の利用や学生・教職員ボランティア派遣等、区民、在学在勤者等の安全確保、生活復興等の応急対策を迅速に推進するための協定を締結している。
2	○	○					歩きぬた魅力アップ推進事業	砧総合支所管内の大学・専門学校と区民の協力を得て、砧地域の見どころを紹介するウォーキングマップ「Tohode」の日本語版及び英語版を作成し、併せてウォーキングマップの見どころを解説する冊子（日本語版のみ）を作成。また、大学生、専門学校生を主な出演者とする、地域の見どころ紹介動画も作成。
3	○						ボランティアマッチングセンター等に関する協定書	平成27年3月に世田谷区、世田谷ボランティア協会と締結した「災害時における協力体制に関する協定書」に基づき、災害が発生した際に、ボランティアマッチングセンター等を大学施設に設置する。また、平常時において、連携を図る。 ①災害発生時における協力の在り方に関する研究 ②連絡会の開催 ③教職員、学生に対する防災に係る啓発 ④円滑な施行に資する
4			○		○		大学等教育機関との連携	基本協定に基づき「区内大学と世田谷区教育委員会との教育活動等支援事業に関する覚書」を締結し、区立幼稚園、区立小・中学校の教育活動等支援のための学生派遣事業を平成17年9月より開始。 派遣対象となる教育活動 ①学級運営の支援、②学校行事等への支援、③部活動における技術指導、④配慮を要する児童・生徒への支援

No	類型						事業名	事業概要
	①地域資源の活用	②学生の参画	③大学研究・教育活動	④各種計画策定にかかる調査研究・アドバイス	⑤小・中学生等の学習支援、生涯学習	⑥施設の相互利用		
	地理的条件や特産品といった地域資源の活用や社会的課題解決を図る事例など	イベント参加、ボランティア活動、インターンシップなど	防災、福祉、教育分野等、研究・教育活動を活かした取組み	計画策定にかかる委員、各取組みに対するアドバイスなど	通常授業への支援、授業では体験しがたいテーマの学習支援、公開講座など	図書館の相互利用、事業における施設使用協力など		
5					○		リカレント学習推進	区民の多様な学習意欲に応え、区民の生涯学習を支援することを目的とし、区内大学・短期大学等が主催する公開講座の広報支援を中心に、区民に学習機会を提供する。
6						○	大学図書館の区民利用	基本協定に基づき「区内大学と世田谷区教育委員会との大学図書館の世田谷区民の利用に関する覚書」を締結し、専門書等について、大学図書館の区民利用を進めている。
7		○					ミニコミ紙編集委員会	日大商学部砧祭実行委員が砧地区ミニコミ誌である「砧のひびき」の編集委員として加わり、年間を通して活動している。
8		○					地区イベント協力事業	砧地区におけるイベント（緑化まつり、古着・古布回収・砧ラリー等）において日大商学部砧祭実行委員がスタッフとして参加し、地域住民との交流を深めている。
9			○				日大砧祭への協力	日大商学部砧祭実行委員会主催の「日大砧祭」に砧地区ごみ減量・リサイクル推進委員会、日赤奉仕団砧分団が出店協力している。